

2023年10月10日

関係各位

社会福祉法人 中心会
理事長 浦野 正男
中心子どもの家
所長 丹 清

中心子どもの家の
インフルエンザ感染事例について
(1の①)

中心子どもの家のインフルエンザのクラスター発生について、お知らせします。

10月3日(火)、児童1名(児童Aと言います)のインフルエンザA型の感染が確認されました。この感染は外部からの感染と推定されます。

その後、5日(木)から6日(金)にかけて、同じフロアー(生活区域は2つ)の3名の職員のインフルエンザA型の感染が確認されました。児童Aは就寝支援等を要する幼児であることから、この職員3名は児童Aからの感染と推定されます。

そして昨9日(月)、同じフロアーにて新たに3名の児童のインフルエンザA型の感染が確認されました。これは上記の職員からの感染に端を発しているのか、新たな外部からの感染に端を発しているのかは定かではありません。どちらの可能性も考えられます。

これにより、3日(火)から昨9日(月)までの中心子どもの家の感染者は、合わせて7名(児童4名、職員3名)となりました。

中心子どもの家では、感染が確認された児童を隔離し、感染が確認された職員の出勤を停止して、感染拡大の防止に努めています。

皆様にはご心配をおかけして誠に申し訳なく存じますが、事情ご高察のうえ、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。